



いまい 勝 今井まさる県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

震災復興とともに施工を

都交差点の改良 手賀沼自転車道

6月県議会一般質問 我孫子市特集



6月県議会で登壇し、道路整備などについて質問する今井勝県議

大勢の我孫子市民の後押しで、2期目の県会議員活動を一トさせた今井勝県議は、商工労働企業常任委員会委員長に就任し、幅広い見識で千葉県の雇用者問題や中小企業の振興などに取り組んでいます。6月県議会でも、中小ものづくり企業の人材育成について県の方針を質しました。このほか、震災で被害を被った地元我孫子市の復興・復旧について真摯に要望をしました。今井県議の一般質問を特集します。

今井議員 震災の復興支援と国道・県道の整備についてうかがう。東日本大震災によって、我孫子市にお

いても5月20日現在、被害住家619戸、うち全壊住家139戸の被害が発生している。公共施設は90施設、599件の被害があり、被害額は約25億円と試算されている。

我孫子市では被害が集中した布佐地区の復旧・復興と住民支援のため、「布佐東部地区復旧対策室」を設置し、「安全・安心なまちづくり」を目指し、住民と一体となって、復旧・復興を進めている。

布佐地区の国道356号の都交差点は付加車線がなく、歩道幅員が狭いことから、学童・高齢者などの歩

行者や自転車の安全確保、緊急車両等の円滑な通行に支障をきたしている。

「安全で安心なまち」をつくるためには交差点改良が必要。そこだろうか、都交差点の改良を、この地区の復興事業とあわせて行うことが効果的と思うかどうか。

県土整備部長 東北地方太平洋沖地震により、国道356号と県道千葉竜ヶ崎線が交差する都交差点付近においても、路面の沈下や段差、マンホールの浮き上がりなど甚大な被害が発生しました。

都交差点については、非

常に交通量が多く重要な路線であり、また、6月10日に災害査定の際採択を受けたことから速やかに工事着手することとしております。

今後、市が復興計画を策定するなかで、都交差点の改修などが必要となる場合は、市と協議し整備に協力してまいります。

今井議員 「手賀沼自転車道」は、我孫子市が進めている復旧・復興事業とあわせて整備することが効果的であるとともに、「交流拡大」という被災地の復興策としても大変有効であると考えられるかどうか。

知事 県道我孫子流山自

転車道線については、平成17年度までに総延長約30キロのうち50パーセントを部分供用しております。

更に今年度は、3・5キロを完成させることにより、手賀沼に沿った全区間の供用が図られ、更なる手賀沼の魅力向上に効果が発揮されるものと考えます。

利根川堤防に至る未整備区間については、被災地域の復興事業計画を検討するなかで、市と協議を進めたいと考えており、県としても、自転車道の整備により本地域の復興を支援してまいります。

今井議員 液状化により不明確となった国・県道の境界をどのように復元、確定するのか。

県土整備部長 被災した道路の復旧のためには、道路境界を早期に確定することが重要であります。地積測量図や既設の境界標などを参考に、それぞれの土地所有者の方々と協議、立ち合いのもと確定してまいります。

356号我孫子ハイパス 新工区24年度暫定供用へ

再質問 **今井議員** 国道356号我孫子ハイパスの完成への意気込みと完成年度をお聞かせ下さい。

県土整備部長 我孫子ハイパスの新工区1・4キロにつきましては、平成24年度に暫定供用を目指しております。日秀工区0・9キロについては、昨年度から用地買収に着手したところであり、残る地権者は約30名おります。現在、用地交渉を積極的に行っているところ

です。今後とも、地元の皆様方の協力を得ながら、事業推進に努めてまいります。是非ご協力をお願いいたします。

今井まさる・PROFILE

略歴

- 昭和23年 1月 我孫子市生まれ。湖北小、湖北中、柏日体高卒
- 昭和41年 4月 千葉日産入社→退社
- 昭和43年 4月 今井タクシー入社→会長
- 平成11年11月 我孫子市議会議員初当選(2期連続当選)
- 平成17年 4月 県議会議員補選337票差で次点
- 平成19年 4月 県議会議員初当選(2期連続当選)

現職

- 県議会 商工労働企業常任委員会委員長
- 自民党 総務会常任総務
- 自民党県連 組織本部委員
- 議員連盟 私学振興、動物愛護、商工、靖国神社、地域医療、幼児教育、保育所、医療、調理師、宅地建物等、介護、防衛、資源リサイクル、看護、ハツ場ダム、カジノ、環境保全

●県政や我孫子のご相談、ご意見を聞かせてください

今井まさる 県議事務所 〒270-1138 我孫子市下ヶ戸1825
TEL.04-7181-7181 FAX.04-7181-7187

観光資源として期待

手賀沼

県、広域連携を積極支援



産業祭りを通じて広域観光振興の支援も

市町村による具体的な取組の検討はこれから始まると聞いていますが、周辺の市町村が、都市近郊の豊かな自然環境や歴史・文化的な資源の活用を図りながら、広域的なまちづくりを進めようとしていることは、観光振興にも大いに資するものと期待しています。

県としては、今後、当地域における広域連携の取組の進展に応じて、効果的な情報発信や観光関連施設整備、誘客・滞在の促進に向けた新たな取組に対する助成など、積極的に支援してまいりたいと、そのように考えております。

今井議員 手賀沼及びその周辺は、北総の自然美を代表する景勝地で、「名所・旧跡」が多い地区。今後、「手賀沼・手賀川」を取り巻く自治体が、さまざまな広域観光振興策を検討し、実施していくことになろうと思うが、県として、このような取組みをどのように支援していくのか。

知事 広域的な観光地域づくりは、地域の魅力高め、地域間競争力の強化につながることも、滞在時間や消費の拡大にも寄与するものであることから、県内各地において、そうした取組みがより活発になることが望ましいと考えています。

孫子市、印西市の流域自治体、県及び国などの関係機関で構成される「手賀沼・手賀川活用推進協議会」が設立されることから、この協議会において今後、取り組むべき具体的な課題や、関係機関の役割分担などについて検討していきます。

ニーズに応える人材育成が必要

今井議員 産業を支える中小ものづくり企業を担う人材を育成するため、県はこうした企業と連絡を図り、企業ニーズに応える職業訓練を実施していくことが必要。そこで、かががが、県ではものづくりを担う人材の育成に当たり、地元企業との連携強化について、どのように取り組んでいるのか。

県 県では、中小のものづくり企業を担う人材を育成するため、高等技術専門校6校を設置し、金属

機械、電気などの分野について、企業ニーズに沿った職業訓練を実施しているところ。特に、「働きながら学ぶ」ことにより、即戦力の人材の育成を目指すデュアルシステム訓練は、座学・実習に加え、企業現場での実践的な訓練を行うもので、企業から高い評価を得ています。

産業支える中小ものづくり企業

また、職場内訓練が困難な中小企業のため、企業の実技訓練を提供するなど、従業員のスキルアップや資格取得を推進しています。さらに今年度は、企業が求める技能・資格などにつきまして、多くの事業主から直接意見を聞くこととしており、これまで以上に、企業との連携を強化し、訓練内容の充実にも努めてまいります。

放射線量測定器を市町村に貸し出し

今井議員 放射線量測定器の購入時期はいつごろになるのか。また、測定器の測定方法はどのようにするのか。

環境生活部長 放射線量測定器は、7月中旬に15台

不登校の児童、増加傾向

今井議員 不登校問題とその対策についてだが、小中学校の不登校児童生徒の状況はどうか。

教育長 本県における平成21年度の小学校の不登校児童数は852人で前年度より41人増加しており、全児童に対する割合は0.26%です。また、中学校は4247人で前年度より93人減少しており、全生徒に対する割合は2.77%です。

全体としては前年に比べ減少しており、1000人当たりの人数は小中学校とも全国平均を下回っておりますが、小学校では増加傾向にあり、依然として憂慮すべき状況にあると考えております。

さらに、不登校対策を推進する研究校112校を指定し、各校に配置した加配教員が中心となり、支援教室において学級復帰に向けた取組みを行っているところで

6月県議会一般質問 我孫子市特集
人にやさしい
県民本位の政治

今井まさるの県議

7月末に10台、8月末に10台、併せて35台が納入される予定です。
この測定器を地域振興事務所に配置し、市町村に貸し出すことにより、同じ性能の機械を活用できるようにいたします。